

第2回 富田林市支援対策本部会議（令和6年能登半島地震）報告書

日時 令和6年1月10日（水）9：30～

場所 消防本部4階 大講堂

案件

1. 輪島市への支援について

（1）消防隊による救援活動

- ・震災直後から、支援隊を派遣し救助活動等を行っている。
- ・1月10日現在、富田林市消防本部から合計14名の隊員を派遣し、輪島市を中心に活動を実施。今後も継続して派遣（支援）を実施する。

（2）救援物資の搬送

- ・本市独自の緊急的な対応として、1月5日～1月6日にかけて、備蓄水、ボックストイレ、その他生活用品等の救援物資を輪島市へ搬送するプッシュ支援を行うとともに、被災地の状況を視察した。

2. 令和6年能登半島地震の被害状況

- ・人的被害、住家被害ともに甚大であり、特に輪島市、珠洲市の被害が大きい。
- ・県内約400か所の避難所に、約26,000人が避難されている。
- ・県内約15,000戸で停電が続いており、12市町で断水が発生中。輪島市、珠洲市他、多くの市町でほぼ全域が断水。

3. 大阪府の対応

- ・府、大阪市、堺市、各市町村が連携し、オール大阪で、全力で被災地支援を行う。
- ・「府、大阪市、堺市」は、「輪島市」のカウンターパートとして、三重県、東京都、川崎市、徳島県、北海道、長野県、静岡市とともに支援を行い、各市町村はこれに協力する。
- ・1/5から4名の現地調査隊を派遣中。
- ・1/10から1か月程度、府、大阪市、堺市、各市町村で支援チーム（約40名）を結成し、1クール一週間の交代制で、避難所運営等の支援を行う。

4. 今後の対応

（1）義援金について

- ・1/4から、市内公共施設19か所に募金箱を設置。

- ・1/8に「はたちの集い」の会場や市内の商業施設で街頭募金を実施し、475,898円の寄付をいただいた。
- ・本市からは、義援金として100万円を寄付するものとし、1/12に市長が石川県大阪事務所に目録を持参する。

(2) 支援物資について

- ・本市独自の輪島市への救援物資のプッシュ支援の他、今後提供可能な備蓄物資の個数等について報告した。

(3) 人的支援について

- ・府、大阪市、堺市、各市町村の支援チームで、被災地へ出向き、避難所運営等の支援を行うにあたり、本市の派遣可能人数について1/16以降、各クール2名ずつ、計20名の派遣が可能との報告を行うこととする。

(4) その他

- ・被災地への支援の状況は、市広報誌（2月号）、ウェブサイト等で適宜情報発信を行う。

以上